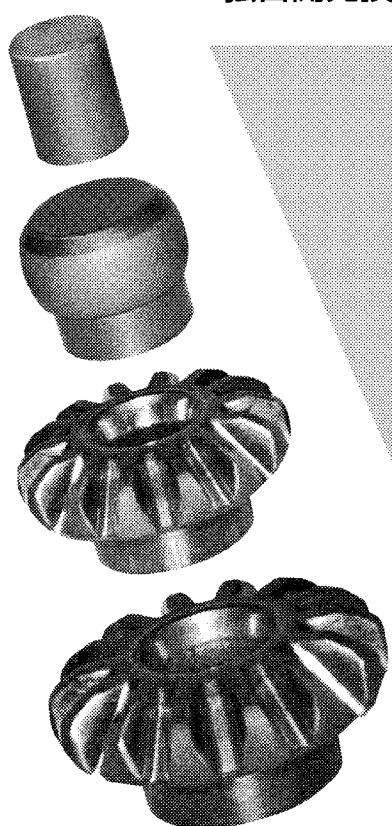




## “ネットシェイプ”のベストパートナー

独自開発技術と充実の自社設備でトータルサービスを展開します。



“ネットシェイプ”とは、鍛造だけで複雑形状部品を完成させる理想の製造プロセス。生産のスピードアップやコスト低減のほか、省資源・省エネルギーにも貢献するため、さまざまな業界で注目されています。

ニチダイは、究極の加工技術“ネットシェイプ”を追求することで、自動車産業をはじめ、世界中の製造業のパートナーをめざしています。

主要製品 / 精密鍛造金型・粉末成形金型・精密板金金型・各種ダイセット・治工具・精密鍛造品・受託開発・各種生産システム



株式会社 ニチダイ  
NICHIDAI CORPORATION  
http://www.nichidai.jp

本社 〒610-0341 京都府京田辺市新北町田13  
TEL 0774-62-3481 FAX 0774-62-3469  
営業拠点 熊谷、浜松、名古屋、京都、岡山、熊本、中国、米田、タイ

# SCREEN

## Fit your needs, Fit your future

期待に応えて、未来を形に・・・



大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目 www.screen.co.jp

# 新技術・産業起こし 京都に活力

## 行政・支援機関の産業振興策

経営革新、開発向けサポート体制充実



アイ・エムセップの研究スペース

経営革新、開発向けサポート体制充実

産業支援機関の京都高度技術研究所（IAST）が、経営革新に取り組む中小企業を継続的に支援する「オスカー認定制度」は、02年の創設後目標の100社に到達し、いったん09年に区切りをつけたが10年度末に再開された。新たに9件を認定した。当初は第2創業という観点に主眼を置いていたが、復活後は経営者や事業の方針なども幅広く審査する。



京都市と日立造船はバイオマス利活用で共同技術開発協定に調印（左から）木田熊本大学教授、門川京都市長、古川日立造船社長

地域産業の活性化に不可欠な中小企業支援を重点施策に掲げる京都市、山田啓二知事は中小の再生・発展に向けて2010年度からの4年間で100億円を投資するとしており、「京力（きより）く」を中核として、中小企業100億円事業を通して全力でバックアップする方針だ。11年度からは「中小企業応援隊」を組織し、京都商工会議所とも連携して中小3万社を訪問してコンサルティングを行う事業を推進する。

## 中小企業の再生・発展へ100億円投資

京都府は、記録的な円高を受けて対応策にも素早く着手し、中小企業応援隊に、円高特別対策チームを設置し、円高で大きな影響を受ける中小1000社を集中訪問して生産ラインの抜本的な見直しなどを専門家が支援している。京力には、京都府の「協カ」のほかに「協カ」の「強力」といった意味を込めており、京都は総力を挙げて産業振興を推進する。

## 京都市 医療分野の開発支援 基礎研究レベル開発促す

京都市は2011年度、学部附属病院の「先端医療機器や医用材料、医薬品などの開発につながる新たな医療技術の研究開発への助成制度」を始めた。中小企業や大学研究者が対象で、基礎研究段階での開発を促進して新規事業展開に結びつけるのが狙い。新制度の創設に伴い支援拠点の「医工産学公連携支援オフィス」を京都大学医学部附属病院の「先端医療機器開発・臨床研究センター」（同左京区）内に移転、より医療現場に近い場所で支援を強化する。同助成制度では、11年度の審査を経て、医療機器部品加工などを手がけるウミヒラ（同南区）の「形状記憶合金製酸素ブローブとコンバクト高周波電波発生装置の開発」が選ばれた。

同市は環境モデル都市として低炭素社会の実現に向け、日立造船や熊本大学と共同で一般廃棄物を始め、記録的な円高を受けて対応策にも素早く着手し、中小企業応援隊に、円高特別対策チームを設置し、円高で大きな影響を受ける中小1000社を集中訪問して生産ラインの抜本的な見直しなどを専門家が支援している。京力には、京都府の「協カ」のほかに「協カ」の「強力」といった意味を込めており、京都は総力を挙げて産業振興を推進する。

医療・環境分野をはじめとする技術革新は世界的な動きとなり、京都でも自治体が次世代の「知」となる技術開発を推進している。また、田高や欧米の経済不安など厳しい状況が続く中、中小・ベンチャー企業の事業活動を円滑にするための支援策も充実。関連団体も含め新技術・新産業の創出や企業の成長で地域の活力を生み出す勢いが加速する。

## 次世代開く「知」生む

からバイオマスを回収してエタノールに変換する技術の開発に着手した。市内から排出される家庭や事業所の廃棄物の生ごみと紙くみを機械で選別し、糖化・発酵させて最終的に蒸留設備でエタノールを製造する。一般廃棄物1トンあたり約60リットルが製造可能。11年度の環境省の補助を受け、12年度は実証試験を実施。ガソリンの代替や温室暖房用のバナー、発電機などでの実用化を目指す。門川大作市長は「エタノールの残さからバイオガスを取り出す取り組みもしていきたい」とエネルギーの効率的な利活用を進める考えだ。

# nichicon

すぐに、期待以上のこと。Can Do!

## 人と、地球と、技術をつなぐ。

エコカーの本格的普及やクリーンエネルギー技術の進展。

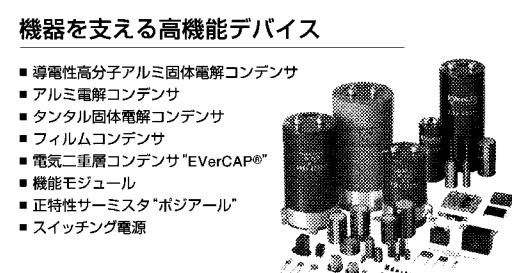
そして、それらを含むスマートグリッド構想など、新たな広がりを見せはじめた環境技術。

ニチコンは、「自動車・車両関連機器」「エコ関連機器」「デジタル家電機器」「情報通信機器」など、最先端分野で不可欠なデバイスを提供するメーカーとして、

確かな品質と技術力で、地球にやさしい社会の実現を支えてまいります。



For Automobiles-related Appliances  
自動車・車両関連機器用



For Ecology-related Appliances  
エコ関連機器用

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845 TEL.075-231-8461 東京支店 TEL.03-5473-5611 名古屋支店 TEL.052-223-5581 西日本支店 TEL.075-241-5370

http://www.nichicon.co.jp/